

いきいき農業者

⑭

【埼玉】川島町で「んじん」野菜を約4秒で作る
芹澤農園代表の芹澤健さん（38）は、元特別支援学校
の教諭。芹澤さんは教諭時代、特別支援学校生徒の就
職先の選択肢の少なさを痛感した。何とか子どもたち
の就職先の幅を広げることにはできないものかと考えた
芹澤さんは、昔の教え子

を2020年に雇用した。
教え子が働きやすい環境作りも行った。ゆくゆくは完全ではなくても、自立して農業ができる姿をめざしている。

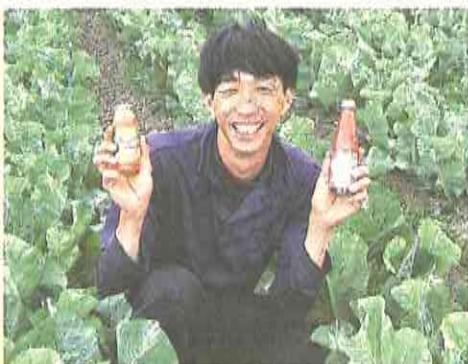
芹澤さんは「一人のモットーは「日本一楽しい農業」だ。同じ目標に向かって楽しく農業に取り組んでいきたい」という思いがあり、①作業工程を見直し効率化を図る②「んじん」を

同時に③次に何をするか考えて行動する——の三つを実践している。

昨年は一人でナス

を栽培したが、2年目の今年は約1・5tを教え子に任せてみた。「どうすればおいしい野菜が作れるのか、自分自身で考え、実践してほしい」と芹澤さんはい。

「失敗をしてもいいから、自由に農業に向き合ってほしい」と考える芹澤さんは、「知的障がいがある子どもたちが働ける場のモデル作りをしていきたい。企業が雇用して、自分の農場で作業してもらおう仕組み作りも考え始めている」と話す。芹澤さんは最初の志を忘れずに、これからも歩んでいく。



にんじんジュースとピーツのコーラを手に芹澤さん

川島町 芹澤 健さん